

証券コード：6469

株式
会社 **放電精密** 加工研究所

2024年2月期 第2四半期
決算説明会資料

2023年 10月13日

■ 2024年2月期第2四半期決算概要

- 2024年2月期第2四半期決算のポイント ……P. 3
- 2024年2月期第2四半期決算概要（連結） ……P. 4
- 2024年2月期第2四半期利益の変動要因 ……P. 5
- 事業概要 ……P. 6
- 2024年2月期第2四半期セグメント別概要 ……P. 7～
- 連結貸借対照表とCFの状況 ……P.11
- 2024年2月期 設備投資・償却費・研究開発費 ……P.12

■ 2024年2月期通期連結業績予想 ……P.13～

■ 事業の取り組み状況 ……P.22～

- 別紙①：2024年2月期第2四半期 決算補足資料
- 別紙②：企業概要について

2024年2月期第2四半期連結業績の総括

- ◆ **売上高5,747百万円 前年同期比4.6%減少**
 - 放電加工・表面処理が増収も、金型、機械装置等が減収
- ◆ **営業損失33百万円 前年同期比18百万円増益**
 - 資材費エネルギー費の高騰は依然として影響大
 - 価格転嫁や固定費削減などの対策に注力
- ◆ **親会社株主に帰属する四半期純損失6百万円**

2024年2月期通期連結業績予想

- ◆ **2023年10月3日 通期連結業績予想を修正**

2024年2月期第2四半期 決算概要 (連結)



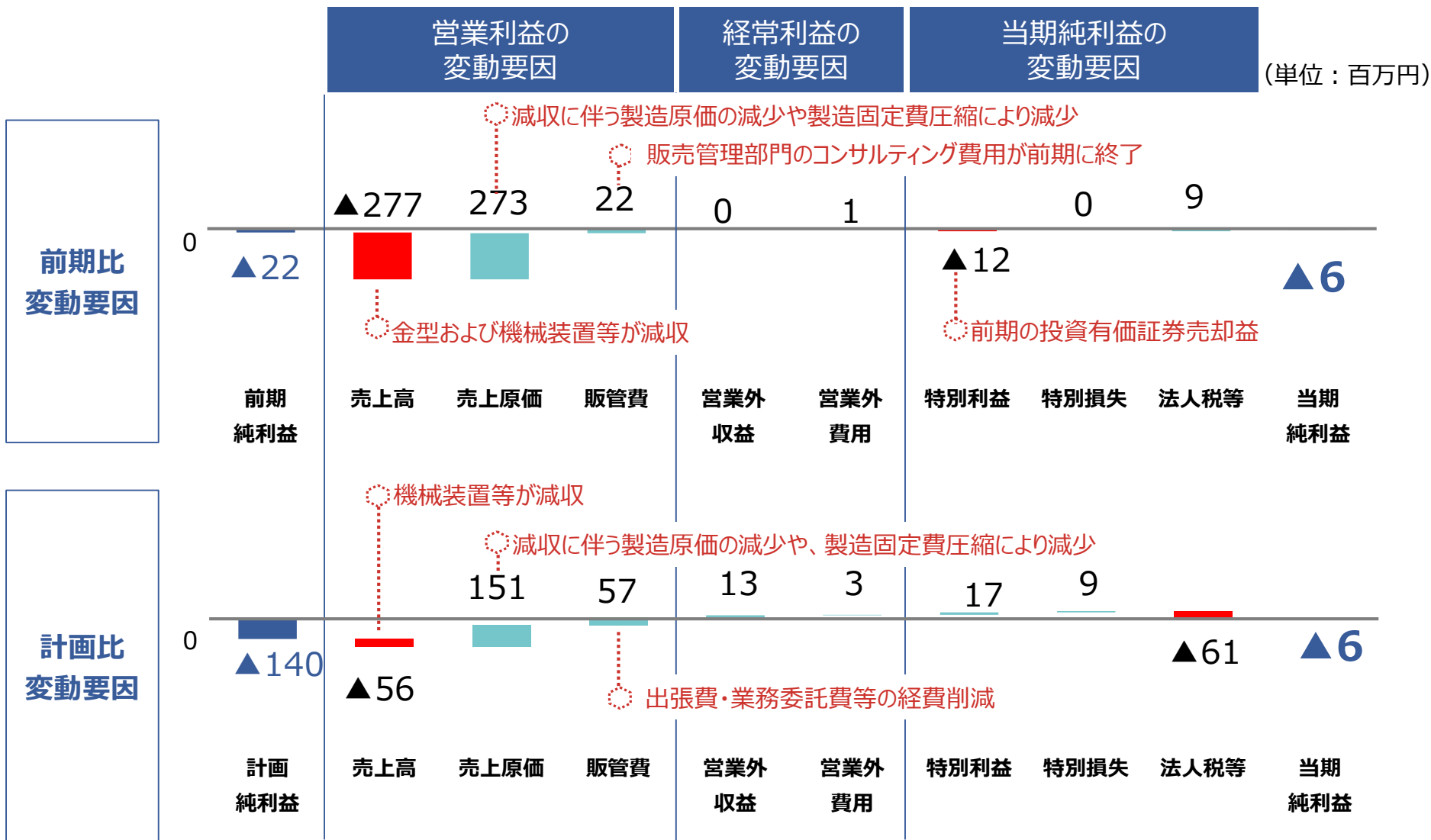
※24年2月期第2Q計画：23年4月6日公表 業績予想

(単位：百万円)

	23年2月期 第2Q実績	24年2月期 第2Q計画	24年2月期 第2Q実績	前期差 増減	計画差 増減
売上高	6,025	5,804	5,747	▲277	▲56
売上原価	4,930	4,808	4,656	▲273	▲151
売上総利益	1,095	995	1,091	▲4	+95
販管費	1,148	1,182	1,125	▲22	▲57
営業利益	▲52	▲186	▲33	+18	+152
営業外損益	1	▲14	2	+1	+17
経常利益	▲51	▲201	▲31	+20	+170
特別損益	49	10	36	▲12	+26
税金等調整前 四半期純利益	▲2	▲191	5	+7	+196
法人税等	20	▲50	11	▲9	+61
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲22	▲140	▲6	+16	+134

- ◆売上高5,747百万円 前年同期比4.6%減 計画は未達成
- ◆営業利益▲33百万円 前年同期比18百万円増 計画は達成
- ◆親会社株主に帰属する四半期純利益▲6百万円 計画は達成

2024年2月期第2四半期利益の変動要因



※計画比：23年4月6日公表 業績予想

※純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

放電加工・表面処理

- 航空・宇宙 ~航空機エンジン部品
- 交通・輸送 ~自動車表面処理部品
- 環境・エネルギー ~産業用ガスタービン関連部品



金

型

- 住宅 ~アルミ押出用金型
- 交通・輸送 ~セラミックスハニカム押出用金型



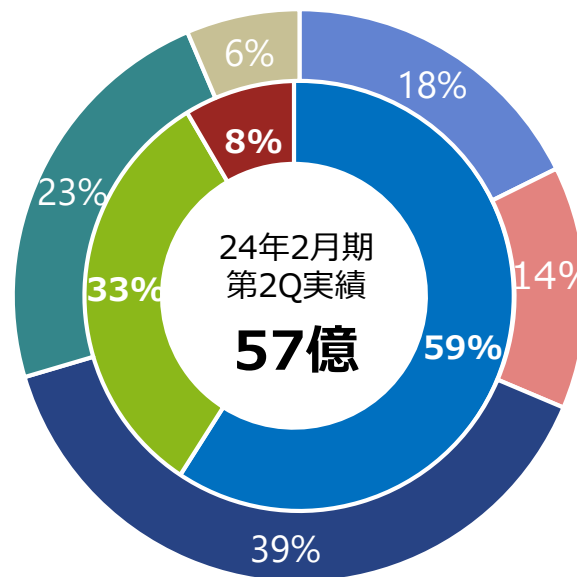
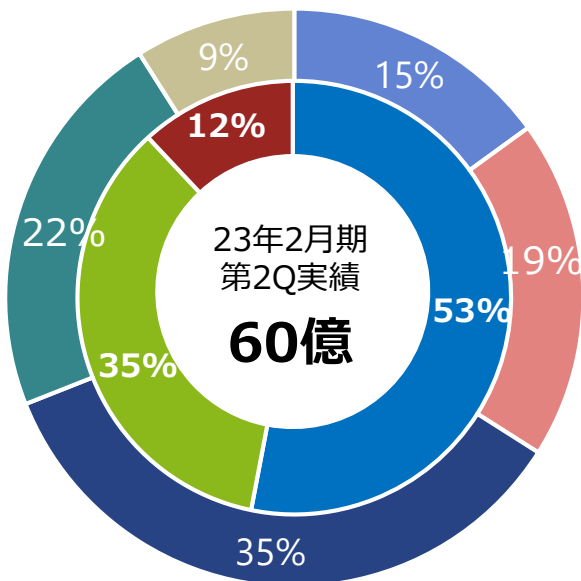
機械装置等

- 機械設備 ~プレス機・プレス付帯設備
- 交通・輸送 ~自動車関連プレス部品



セグメント別/事業分野別売上構成比率 (連結)

セグメント別 ■ 放電加工・表面処理 ■ 金型 ■ 機械装置等



事業分野別 ■ 航空・宇宙 ■ 交通・輸送 ■ 環境・エネルギー ■ 住宅 ■ 機械設備

2024年2月期第2四半期セグメント別概要



(単位：百万円)

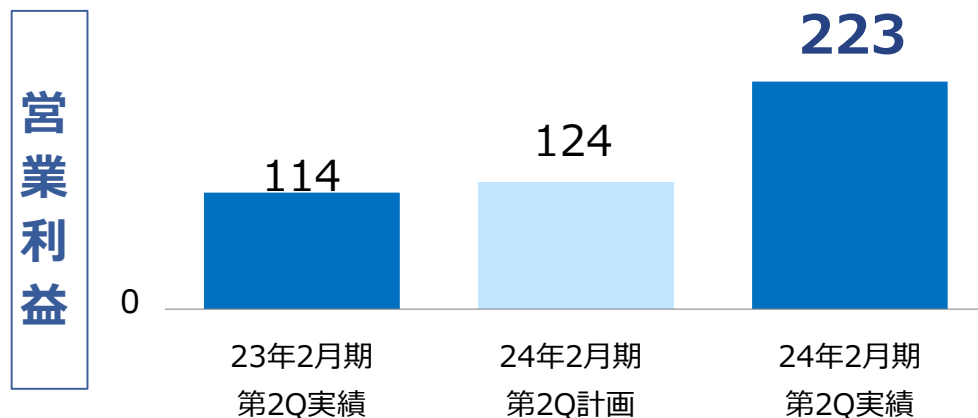
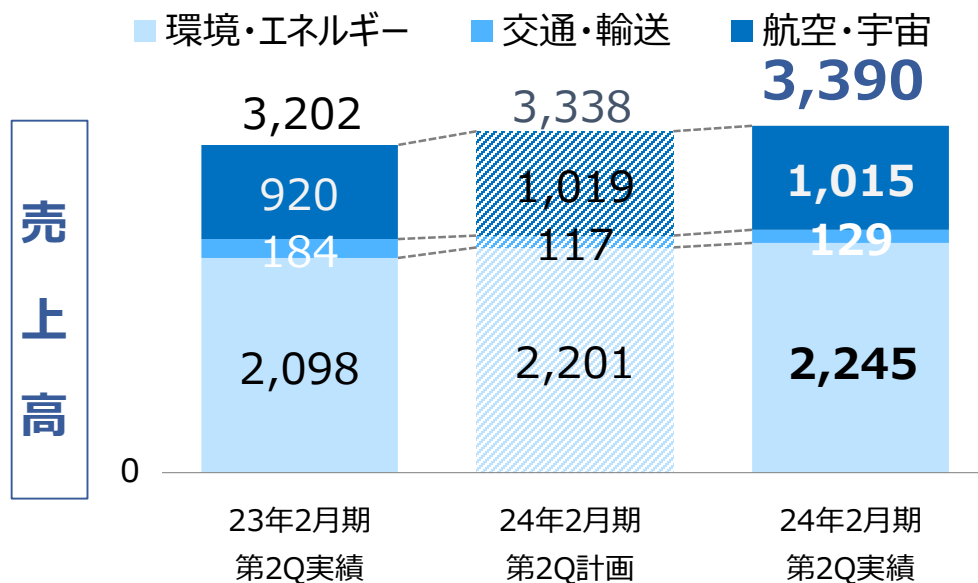
		23年2月期 第2Q実績	24年2月期 第2Q計画	24年2月期 第2Q実績	前期差 増減	計画差 増減
売上高	放電加工・表面処理	3,202	3,338	3,390	+187	+52
	航空・宇宙	920	1,019	1,015	+94	▲4
	交通・輸送	184	117	129	▲54	+12
	環境・エネルギー	2,098	2,201	2,245	+147	+44
営業利益		114	124	223	+108	+98
売上高	金型	2,091	1,823	1,873	▲217	+49
	住宅	1,354	1,263	1,333	▲21	+69
	交通・輸送	736	560	540	▲196	▲20
営業利益		313	244	279	▲34	+34
売上高	機械装置等	731	642	484	▲247	▲157
	機械設備	519	461	368	▲150	▲92
	交通・輸送	212	180	115	▲97	▲65
営業利益		6	▲26	▲48	▲54	▲22
全社費用		▲487	▲529	▲487	▲0	+41
全社	売上高	6,025	5,804	5,747	▲277	▲56
	営業利益	▲52	▲186	▲33	+18	+152

※24年2月期第2Q計画：23年4月6日公表 業績予想

セグメント別詳細：放電加工・表面処理



(単位：百万円)



前期比 増収・増益

売上高：3,202 ⇒ **3,390** (+187)

営業利益：114 ⇒ **223** (+108)

売上高増減要因（前期比 / 計画比）

□ 航空・宇宙 (↑ / ↓)

◇前期比は、航空機エンジン部品の需要が回復し増収。

◇計画比は、若干の未達。

□ 交通・輸送 (↓ / ↑)

◇前期比は、事業所統合に伴い低利益アイテムを整理し減収。

◇計画比は、自動車表面処理部品の受注が増加し増収。

□ 環境・エネルギー (↑ / ↑)

◇前期比・計画比ともに、ガスタービン部品と遠心圧縮機関連部品の受注が増加し増収。

営業利益増減要因（前期比 / 計画比）

□ (↑ / ↑)

◇前期比は、増収に加え、価格転嫁や製造・販管固定費を削減し増益。

◇計画比は、増収および製造・販管固定費を削減し増益。

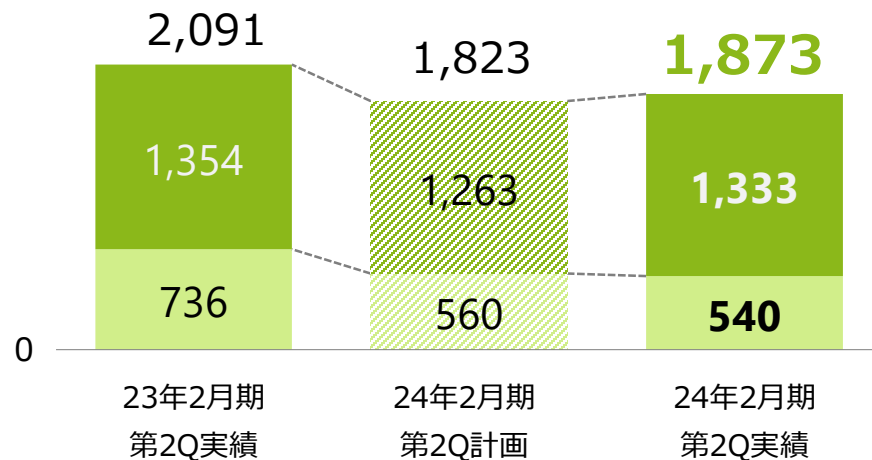
セグメント別詳細：金型



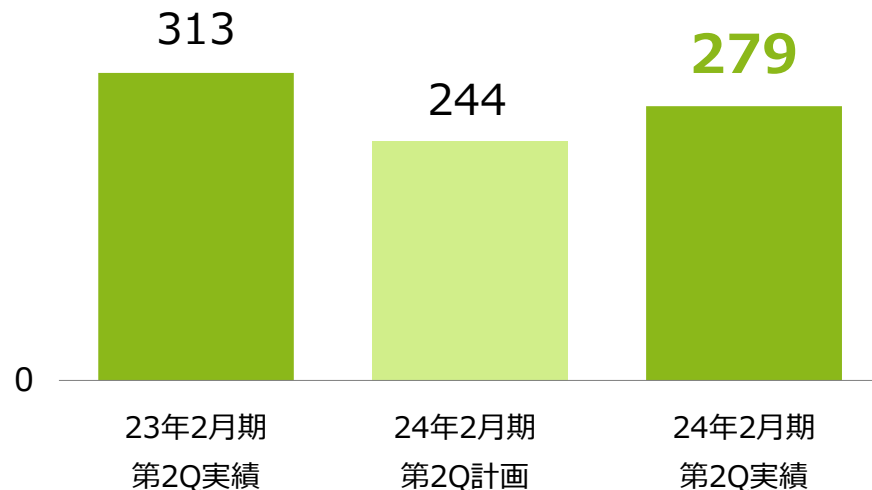
(単位：百万円)

■ 交通・輸送 ■ 住宅

売上高



営業利益



前期比 減収・減益

売上高：2,091 ⇒ **1,873** (▲217)

営業利益：313 ⇒ **279** (▲34)

売上高増減要因 (前期比 / 計画比)

□ 住宅 (↓ / ↑)

- ◇前期比は、国内向けアルミ押出用金型が価格転嫁により増収も、海外関連会社のアルミ押出用金型は受注が減少し減収。
- ◇計画比は、海外関連会社の受注が想定を上回り増収。

□ 交通・輸送 (↓ / ↓)

- ◇前期比は、自動車業界の在庫調整の影響を受けセラミックスハニカム押出用金型の受注が減少し減収。
- ◇計画比は、若干の未達。

営業利益増減要因 (前期比 / 計画比)

□ (↓ / ↑)

- ◇前期比は、人件費などの固定費削減や価格転嫁を進めるも、減収により減益。
- ◇計画比は、人件費や設備費などの固定費を削減したことで増益。

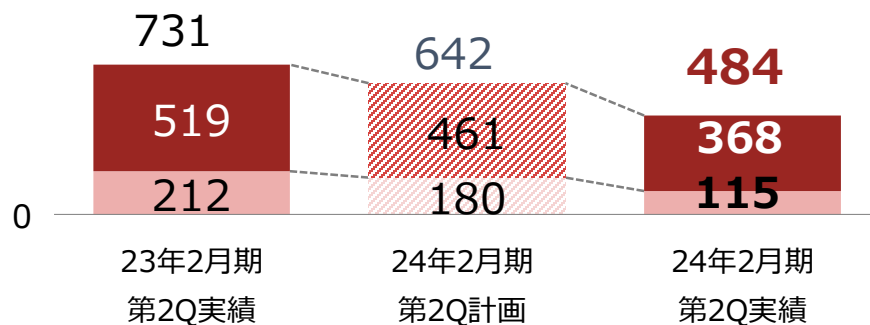
セグメント別詳細：機械装置等



(単位：百万円)

■ 交通・輸送 ■ 機械設備

売上高



前期比 減収・減益

売上高： 731 ⇒ **484** (▲247)
 営業利益： 6 ⇒ **▲48** (▲54)

売上高増減要因 (前期比 / 計画比)

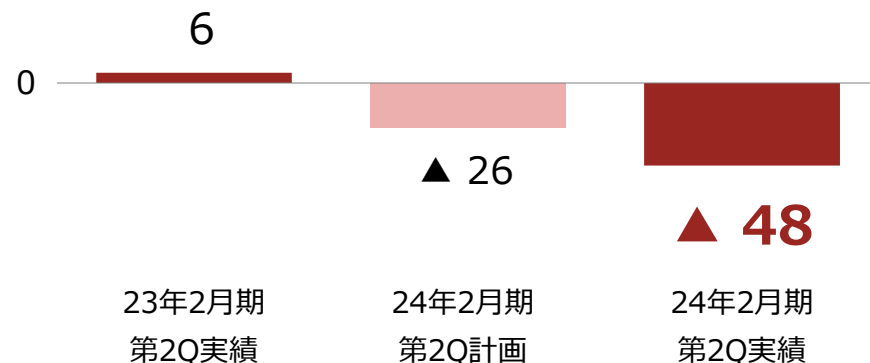
□ 機械設備 (↓ / ↓)

◇前期比・計画比ともに、プレス機とプレス付帯設備の販売台数が減少し減収。

□ 交通・輸送 (↓ / ↓)

◇前期比・計画比ともに、自動車関連プレス部品が生産計画の見直しの影響を受け減収。

営業利益



営業利益増減要因 (前期比 / 計画比)

□ (↓ / ↓)

◇前期比・計画比ともに、減収により減益。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

流動資産 6,225 前年比：▲73	流動負債 6,444 前年比：+360
固定資産 8,766 前年比：+234	固定負債 3,673 前年比：▲191
	純資産 4,873 前年比：▲8

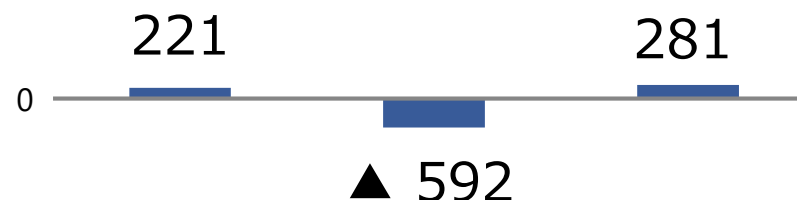
資産の部

負債純資産の部

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	23年2月期 第2Q実績	24年2月期 第2Q実績
現金及び現金同等物の期末残高	1,641	1,508



営業CF 投資CF 財務CF

自己資本比率

2024年2月期第2Q : 27.2%
 2023年2月期 : 27.9%

設備投資 / 減価償却費

(単位：百万円)

	23年2月期 第2Q実績	24年2月期 第2Q実績	24年2月期 計画
設備投資	225	555	1,000
減価償却費	387	320	700

2024年2月期通期 主な投資案件

- 定期更新設備の実施
- 2019年契約の大和事業所隣地土地取得
※土地取得金額約2億

研究開発費

(単位：百万円)

	23年2月期 第2Q実績	24年2月期 第2Q実績	24年2月期 計画
研究開発費	7	10	75

2024年2月期通期 主な投資案件

- DXやICTを活用した
次世代に向けた生産体制構築
- 混合溶融機の開発および混合溶融技術の
素材を活用した各種成型技術の検証

A large, light blue decorative arc that starts from the left side of the page and curves upwards and then downwards, framing the title text.

2024年2月期 通期連結業績予想

2023年4月13日開催 決算説明会時点の認識

外部 環境

- 中国経済減速により建設・自動車需要が鈍化
- 部材供給は、納期の正常化が進むものの一部混乱が残る
- 原燃料価格は低下基調も高水準で推移し、厳しい状況が継続

課題

- 資材費エネルギー費高騰分の価格転嫁徹底
- 工場稼働率向上や調達方法の見直しによるコスト低減
- 機械設備の販促強化

全社一丸となって業績向上に向けた各施策を推進。

セグメント	主な取り組み内容	進捗
放電加工 ・ 表面処理	航空機エンジン部品は生産体制の最適化と物量回復への対応	○
	ガスタービン部品は収益性の良いアイテムへ移行	△
	環境事業として、混合溶融技術による材料開発と設備開発	△
金型	アルミ押出用金型とセラミックスハニカム押出用金型は生産合理化	○
機械装置等	プレス機とプレス付帯設備の販路開拓	△
全社	購買調達の見直しおよび資材費エネルギー費高騰分を価格転嫁	◎

**各政策は、上期にほぼ計画通り進捗
期中の成果刈り取りを目指す**

2024年2月期 通期連結業績予想



2023年10月3日公表 通期連結業績予想の修正、配当予想は変更なし

(単位：百万円)

	23年2月期 実績	24年2月期 2023年4月6日公表 前回発表予想	24年2月期 2023年10月3日公表 今回修正予想	今回予想 前期差	連結業績予想 増減額
売上高	11,679	12,433	12,279	+599	▲153
営業利益	▲311	122	123	+435	+0
経常利益	▲322	94	116	+438	+22
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,288	59	94	+1,382	+34

1株あたり配当金（年間）

7円

2024年2月期セグメント別業績予想



(単位：百万円)

		23年2月期 通期実績	24年2月期 通期業績見通し	前期差 増減	24年2月期 上期実績	24年2月期 下期見通し	上下 増減
売上高	放電加工・表面処理	6,484	7,262	+777	3,390	3,872	+481
	航空・宇宙	1,803	2,212	+408	1,015	1,197	+182
	交通・輸送	304	282	▲22	129	153	+23
	環境・エネルギー	4,375	4,766	+390	2,245	2,521	+275
営業利益		212	611	+399	223	388	+165
売上高	金 型	3,793	3,645	▲147	1,873	1,772	▲100
	住 宅	2,645	2,562	▲82	1,333	1,229	▲103
	交通・輸送	1,147	1,082	▲64	540	542	+2
営業利益		429	494	+65	279	215	▲64
売上高	機械装置等	1,401	1,371	▲30	484	887	+402
	機械設備	1,008	1,037	+28	368	668	+299
	交通・輸送	392	334	▲58	115	218	+103
営業利益		▲25	111	+136	▲48	160	+208
全 社 費 用		▲928	▲1,094	▲166	▲487	▲606	▲118
全 社	売 上 高	11,679	12,279	+599	5,747	6,531	+783
	営 業 利 益	▲311	123	+435	▲33	157	+191

※24年2月期通期業績見通し：23年10月3日公表 業績予想

セグメント別詳細：放電加工・表面処理



2023年2月期 下期実績
 2024年2月期 下期見通し
 2023年2月期 上期実績
 2024年2月期 上期実績
 2023年2月期 通期実績
 2024年2月期 通期見通し

(単位：百万円)

通期見通し（前期比 増収・増益）

売上高：6,484 ⇒ **7,262**（+777）

営業利益：212 ⇒ **611**（+399）

売上高下期見通し（上期対比）

■（↑）航空・宇宙

◇航空機エンジン部品は、受注回復と新規アイテムの生産開始により増収。

■（↑）交通・輸送

◇自動車表面処理部品の受注増加により、増収。

■（↑）環境・エネルギー

◇ガスタービン部品は、受注の回復と新規アイテムの生産開始により増収。

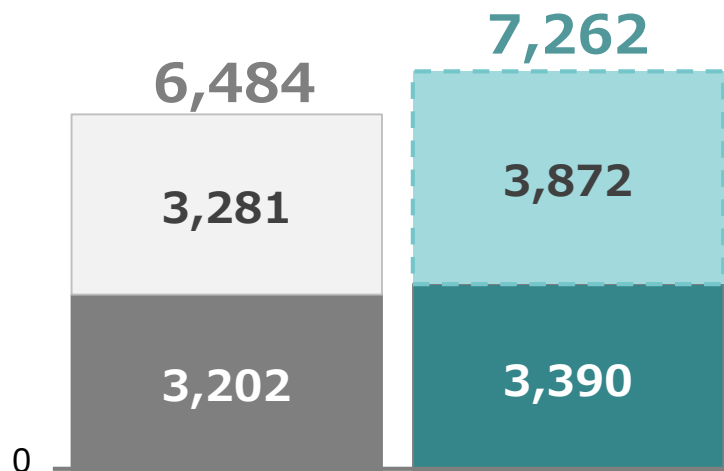
◇環境事業は、混合溶融機初号機の販売により増収。

営業利益下期見通し（上期対比）

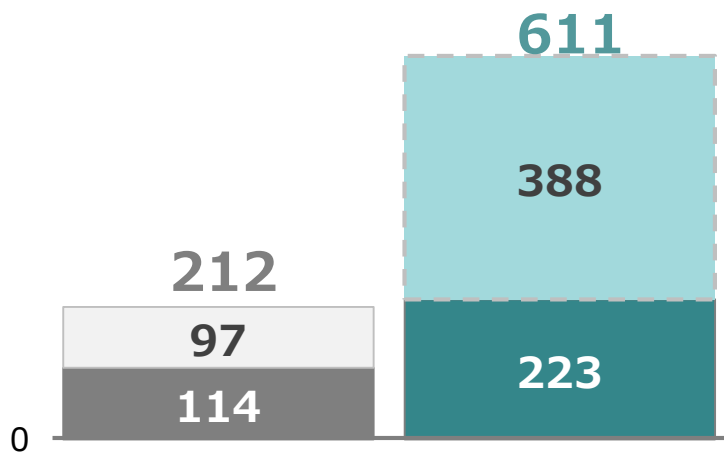
■（↑）

◇増収および資材費エネルギー費の高騰分の価格転嫁が進み増益。

売上高



営業利益



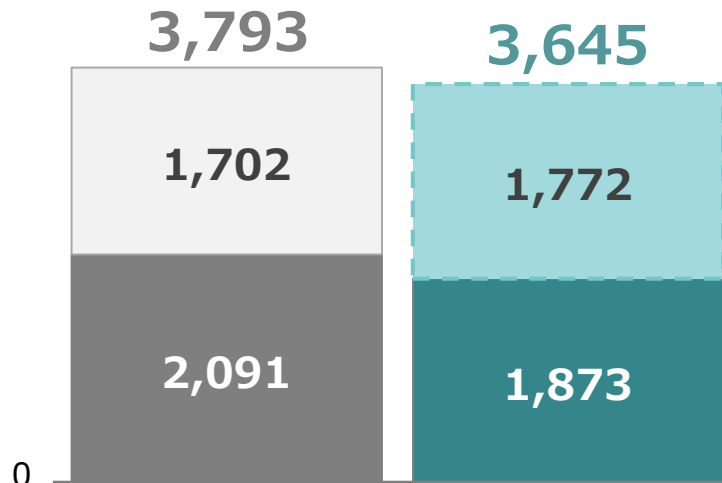
セグメント別詳細：金型



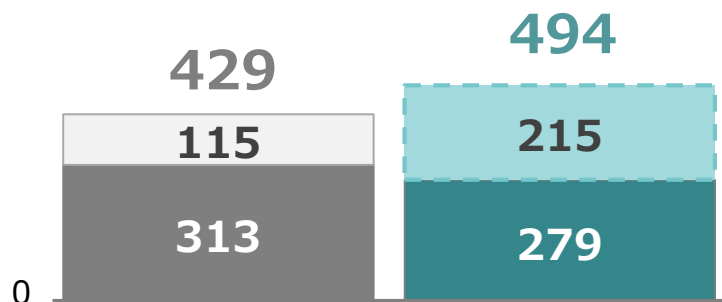
□ 2023年2月期 下期実績 ■ 2024年2月期 下期見通し
■ 2023年2月期 上期実績 ■ 2024年2月期 上期実績
2023年2月期 通期実績 2024年2月期 通期見通し

(単位：百万円)

売上高



営業利益



通期見通し（前期比 減収・増益）

売上高：3,793 ⇒ **3,645** (▲147)

営業利益：429 ⇒ **494** (+64)

売上高下期見通し（上期対比）

■ (↓)住宅関連

◇国内向けアルミ押出用金型が価格転嫁により増収も、
海外関連会社のアルミ押出用金型は、受注が減少し減収。

■ (→)交通・輸送

◇セラミックスハニカム押出用金型は上期並みに推移。

営業利益下期見通し（上期対比）

■ (↓)

◇海外関連会社のアルミ押出用金型の減収により減益。

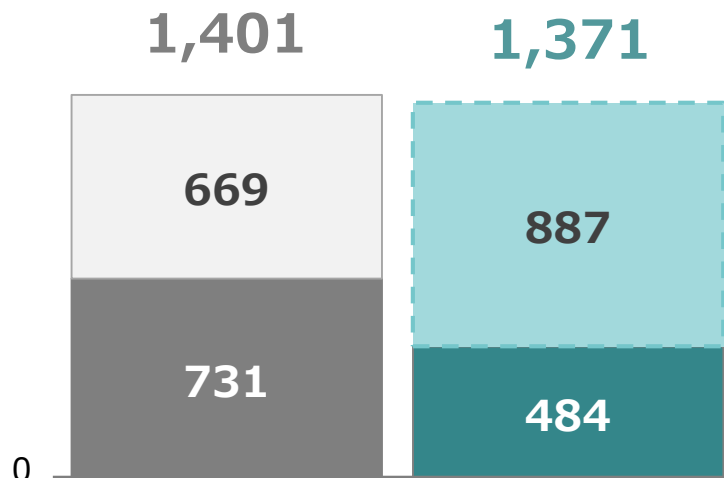
セグメント別詳細：機械装置等



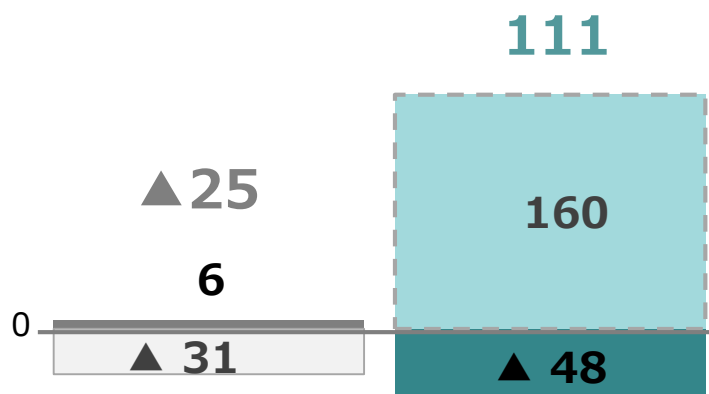
□ 2023年2月期 下期実績 ■ 2024年2月期 下期見通し
■ 2023年2月期 上期実績 ■ 2024年2月期 上期実績
2023年2月期 通期実績 2024年2月期 通期見通し

(単位：百万円)

売上高



営業利益



通期見通し（前期比 減収・増益）

売上高：1,401 ⇒ **1,371** (▲30)

営業利益：▲25 ⇒ **111** (+136)

売上高下期見通し（上期対比）

■(↑)機械設備

- ◇機械設備関連は、プレス機の直近の受注状況を勘案し、増収。
- ◇シェアリングサービスは量産試作の需要継続。
- ◇プレス付帯設備も緩やかな回復の兆し。

■(↑)交通・輸送

- ◇自動車関連プレス部品は、在庫調整の影響が継続も価格転嫁により増収。

営業利益下期見通し（上期対比）

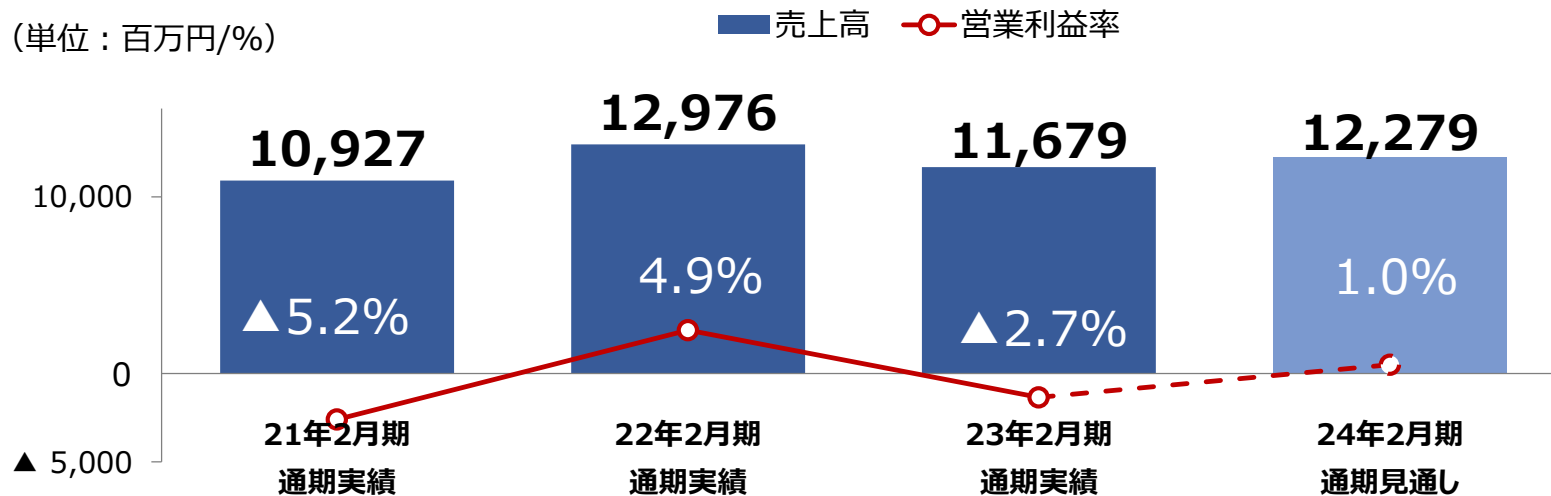
■(↑)

- ◇プレス機の増収および自動車関連プレス部品の価格転嫁により増益。

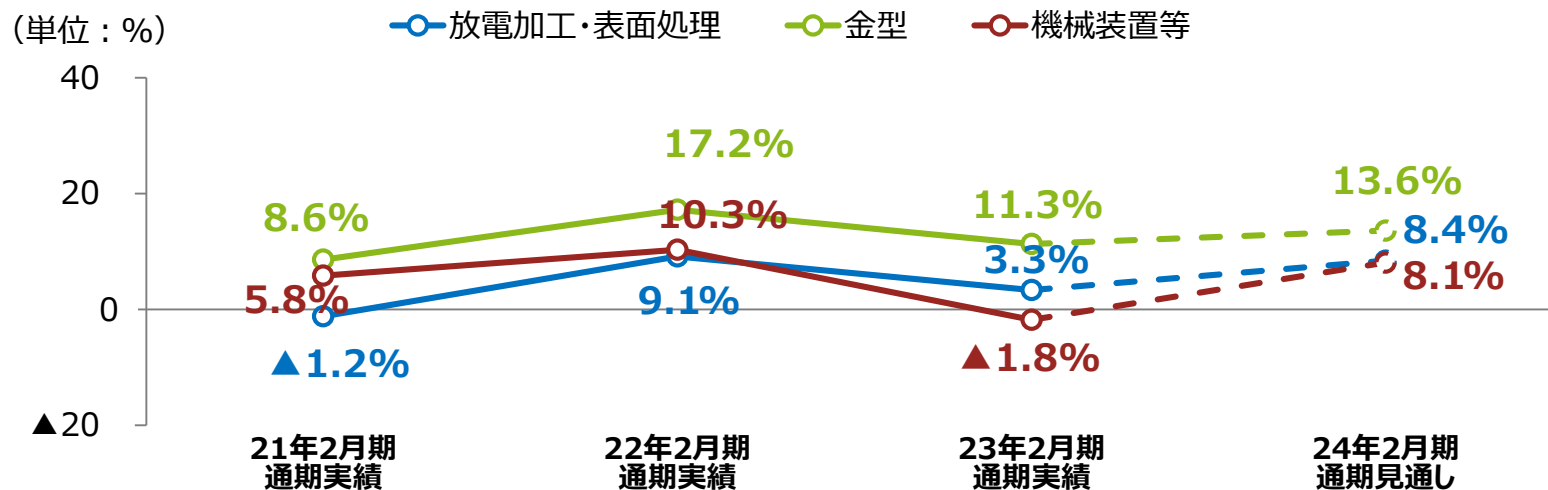
売上高・営業利益率推移



売上高と
営業利益率
推移



セグメント別
営業利益率
推移



※1.営業利益率は外部売上で算出しています。 ※2.セグメント営業利益率は本社費等控除前のものになります。



事業の取り組み状況

リソースを活かした収益改善

事業領域

航空機エンジン部品

- ・低圧タービンブレード
- ・圧縮機燃焼器部品



航空宇宙関連部品

- ・航空機器機体部品
- ・ロケットエンジン部品



事業環境認識

□航空業界の需要回復

- 中小型機は回復も、大型機はやや遅れ気味
- 部品供給の国内回帰を背景に、メンテナンス需要増加

□地政学リスクから防衛装備品の需要高まり

取り組み状況

□航空機エンジン部品事業の黒字化

- 最適な人員配置で需要回復へ対応
- 新規アイテムの立上げは順調に進捗、下期後半より本格生産
- 航空機エンジン部品以外のアイテムを生産

□航空宇宙部品ネットワークAPNetサービスの拡充

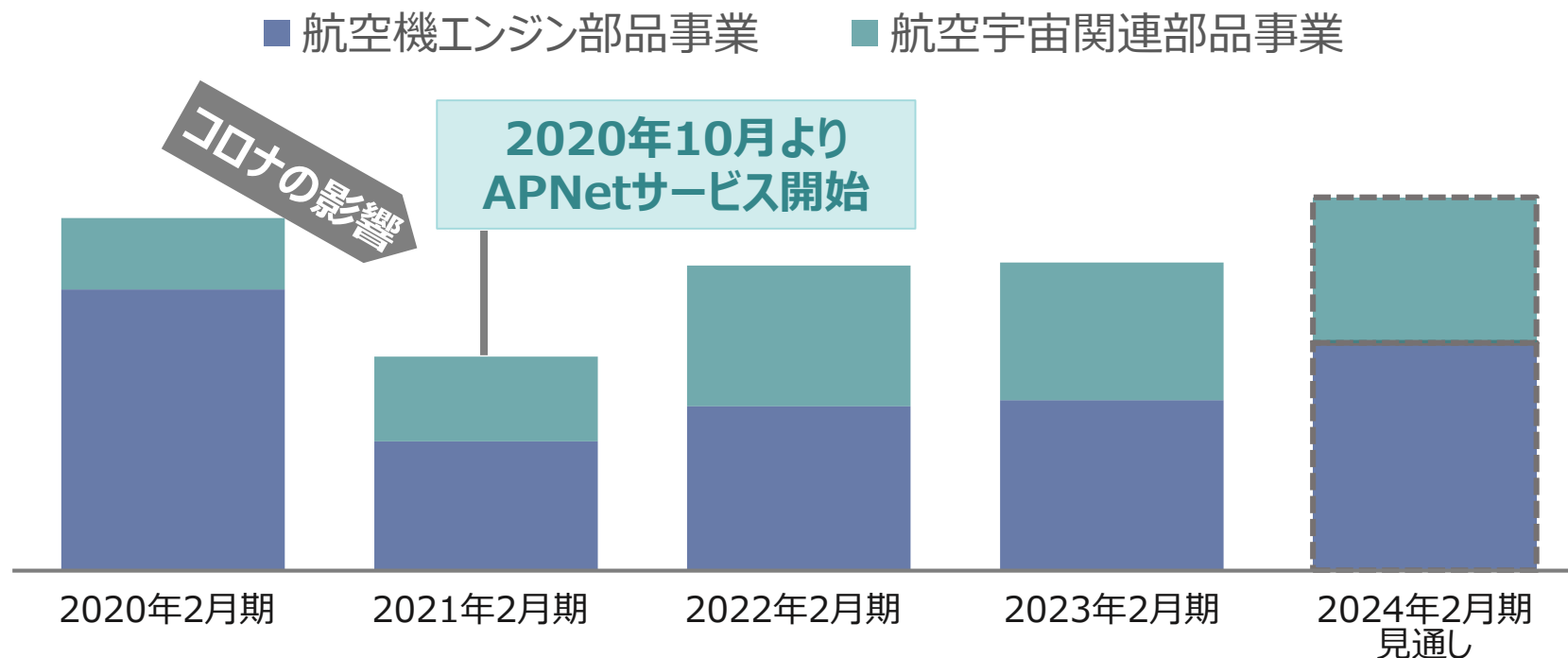
- 協力企業との連携強化、新規協力先の開拓
- 顧客深耕を図り、新規アイテム獲得

□エンジン部品のメンテナンス需要の獲得

- MRO初工程である洗浄を活かした営業を強化

着実に実績を積み、担当領域拡大へ

売上高推移イメージ



- 航空宇宙関連部品事業は、APNetサービスのビジネス拡大を目指す
- 航空機エンジン部品事業は、最適な受注量で推移

既存事業の効率化追求と需要増加対応を推進

事業領域

天然ガス発電

・ガスタービン部品



石油プラント

・遠心圧縮機関連部品



事業環境認識

□脱炭素化の開発は加速

- 天然ガスによる発電の需要は暫く継続
- 水素・アンモニア発電の開発、それに伴い水素生産の開発が加速

取り組み状況

□ガスタービン部品の生産安定化

- 計画的な生産が可能となる受注方式へ切り替え
- 物量に合わせた体制で設備稼働の最適化

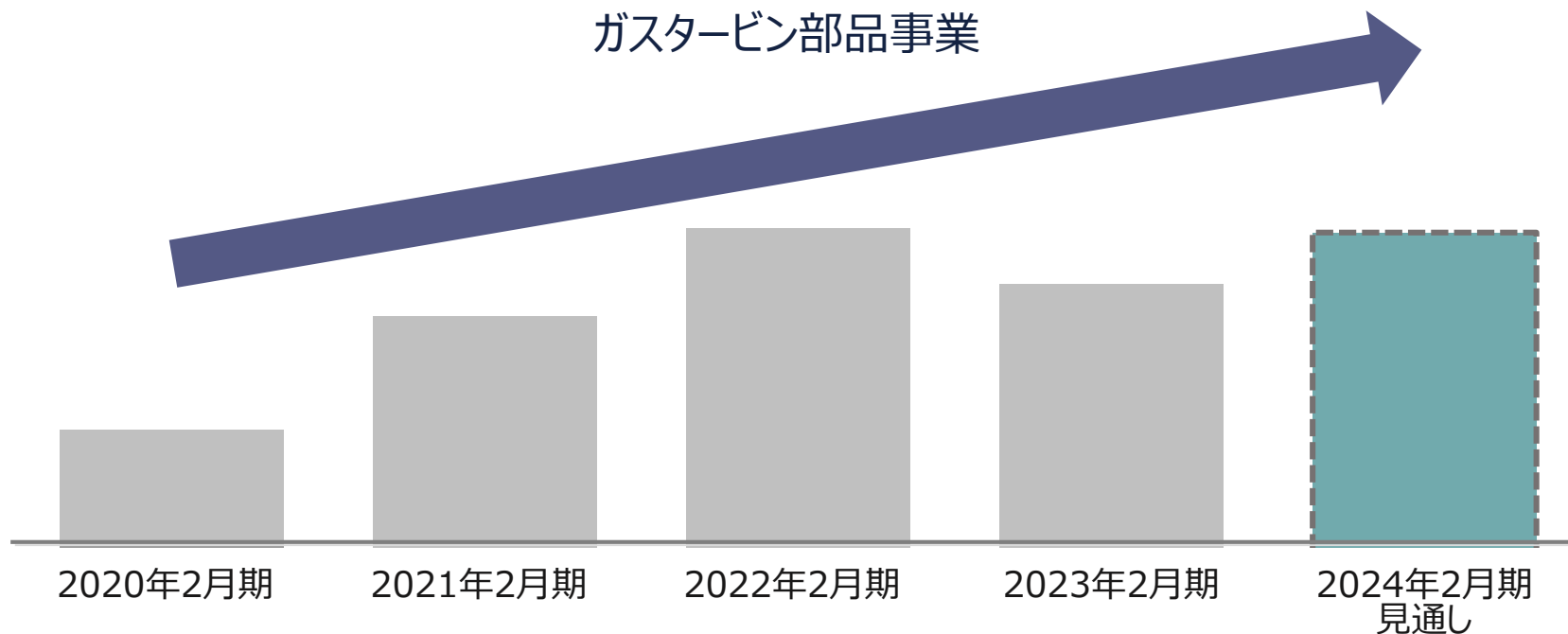
□遠心圧縮機関連部品は生産能力強化

- 保有リソースを最大限に活用し増産対応
- 従来工法を改良し原価低減および供給早期化

天然ガス発電需要は依然として堅調、体制強化し担当領域拡大へ

売上高推移イメージ

ガスタービン部品事業



- 2024年2月期以降は、新規アイテムの量産本格化
- 生産体制の最適化で、売上成長を維持・継続

基盤事業の安定収益確保

事業領域

窓・サッシ

- ・アルミサッシ
- ・アルミ樹脂複合サッシ



自動車

- ・排気ガス浄化装置
- ・アイドリングストップ機構エンジン



事業環境認識

- 住宅は新築需要が鈍化、リフォーム需要伸長**
 - 住宅着工戸数は前年と同水準もやや減少
- 自動車部品業界の供給網混乱は依然継続**
 - 在庫調整の継続で種類によっては前年と同水準
- 両業界ともにカーボンニュートラル加速**

取り組み状況

固定費最適化の追求

- 材料などの価格上昇分の価格転嫁徹底
- 製造コストの最適化、品質・供給の安定化
- データを活用し業務プロセスの合理化

お客様の掲げる次世代ビジネスへの貢献発掘

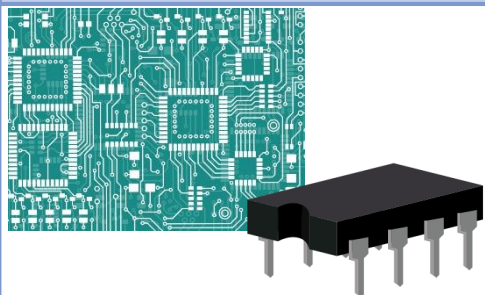
- 技術力・生産能力の強みを活かし、カーボンニュートラルに向けた顧客ニーズの探索と事業機会発掘

新技術・新素材開発市場に向けた販売戦略強化

事業領域

電子機器

- 電子材料
- 電子部品



電池

- 燃料電池部品
- 全固体電池部品



事業環境認識

ものづくり現場の自動化・省人化需要は堅調

- 人手不足を背景にデジタルツールを通じた生産性向上対策を推進

製造業における脱炭素化が加速

- 生産時の二酸化炭素削減に向けた取り組み
- グリーンエネルギーへの切り替え

取り組み状況

サーボプレス機の販促強化

- 電子機器および電池市場へ、フィルム・粉末の高精度成形の宣伝・拡販
- アプローチから契約までのリードタイム短縮
- 省エネ対応プレス機へ切替促進

開発向けシェアリングサービスの強化

- 量産試作の評価向上でプレス機販売へ寄与

プレス付帯設備の販促強化

- 独自の工法提案を強化し、大型案件獲得へ

認知度向上・ビジネスマッチングの機会増大

新機種リリース

セラミックス粉末向け高密度成形機

ZENFormer plus 3x4



半導体部品サンプル



サイズ1mm
レンズZ20x20
傾斜角度：0度

プライベートショー開催

大型機による高精度成形をリアル体験



社会実装を目指し取り組み強化

外部環境認識

□ 資源循環型社会実現に向けた取り組みが加速

- 3R、サーキュラー・エコノミーへの急速なシフト
- プラスチック資源循環促進法施行

コンセプト

混合溶融技術によるマテリアルリサイクルの提供

施策

- ① 混合溶融装置の開発・製造
- ② 難処理プラスチックをリサイクルした新素材の開発
- ③ その素材を利用した成型品の試作
- ④ 資源循環型社会に向けた共創活動

取り組み状況

■ 混合溶融機の販売で業績へ寄与

- 混合溶融機の初号機を期中販売へ

■ 材料・製品試作の開発促進

- 材料・製品試作は、難処理プラスチックリサイクル材料を中心に開発促進



混合溶融機

混合溶融技術でマテリアルリサイクルを促進

混合溶融機の開発・製造

砕く・溶かす・混ぜるを1工程で実現

社会実装に向けた取り組み

ものづくり業界や地域の課題解決へ



公益財団法人全日本科学技術協会と
連携した研究会で取り組み強化中



2023年10月サステナブルマテリアルへ出展

みんなの「知らない」をカタチにする

HJK 株式会社 **放電精密** 加工研究所

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載や記述があります。
資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。